

令和 8 年 8 月 28 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 重信 元子

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 快適な空間の維持・保全について

答弁を求める者 市長

地球温暖化の影響か、草木の成長も早くなり、大きくなりすぎた樹木や伸びすぎた雑草について市民の方から相談やご意見をもらう事が増えたように思います。今までは、元気に維持管理をしていた方が、高齢になり出来なくなった事も原因の一つではないかと考えます。このような状況は、高齢化が進む為に、これからも増加すると考えます。市の役割や見解をいくつかお尋ねいたします。

1. 公園の近くに住む人や町内役員の方から、「公園の樹木が大きくなりすぎて、道路にはみ出しています。秋になると落ち葉や実が落ちて、通行の邪魔になります。」などの声をもらいます。「近所だからと自分で清掃していましたが、高齢になりとても出来ません。」というお話でした。

市から町内へ公園管理費として補助金が出ていますが、市と町内の役割分担は、どのようになっていますか。また、大きくなりすぎた樹木の伐採は、要望に応えられていますか。お聞かせください。

2. 市道のすぐ脇の雑草が、伸びすぎて通行の邪魔になっている所があります。雨や風、雪で倒れる場合もあります。見通しも悪く、事故につながる危険も感じます。雑草の生えている土地が、市の所有している場合と、いわゆる民間所有の場合では、対応が異なると思います。それぞれの対応をお聞かせください。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウエ



3. 北谷北部地域の方から、「河川敷の樹木が大きくなりすぎている。水害の時に被害が拡大しそうで怖い。」などの声を聞いています。今年の春に一部樹木の伐採がされた所もありますが、まだまだ追いついていない感じがしています。堤防である市道の除草対策についてお聞かせください。また、河川敷や法面で年々大きくなる樹木の伐採に関して、河川の管理者である新潟県とどのように連携されていますか。お聞かせください。

4. 警察庁からのお知らせで、令和8年9月1日から、生活道路における自動車の法定速度が60キロから30キロに引き下げられます。というのを目にしました。生活道路とは、中央線等がない地域住民が日常生活に使う道路です。市内には、該当する市道が、たくさんあると想像出来ます。

見附市では、2023年から「ゾーン30」という施策を実施し、歩行者の安全、安心な歩行空間の整備を進めています。この度の、生活道路の法定速度が30キロに変更されることで、「ゾーン30」という施策の必要性が薄まるようにも思えます。今後の施策を展開する上で、影響はありますか。お考えをお聞かせください。

5. 「ゾーン30」を実施して3年が経過しました。30と路面表示する事や、看板設置などの対策をされました。そして、昨年からは、道路上にゴム製の段差ハンプを設ける事や、障害物を置いて道幅を狭めるなどの実証実験をされましたが、実証実験の効果や評価、課題などについてお聞かせください。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【2】 ケアプラザ見附の介護医療院への転換について

答弁を求める者 市長

令和8年8月の議員協議会において、見附市立病院に併設されているケアプラザ見附が、現在の介護老人保健施設から介護医療院に転換する方針を決定したとの報告がありました。その時に頂いた資料と説明、そして、令和7年12月定例会で、ケアプラザ見附のあり方を一般質問した時の答弁を基に、これからケアプラザ見附がどのように変わっていくのか、いくつかお尋ねいたします。

1. この度、介護老人保健施設から介護医療院への転換を決定した一番の理由は何ですか、お聞かせください。

2. 介護医療院への転換のためには、県の認可が必要とのことですが、赤字体質で、経営が厳しい状態ですが、県の認可がおりる見込みはありますか。お聞かせください。

3. 令和7年12月の答弁で、介護医療院に転換するには、まず、人員の確保、看護師が一層多く必要という事でした。見附市に限らず、全国的に看護師が不足している現状があります。看護師の確保状況によって、入所者の定員が変更されるのでしょうか。現在は、入所者の定員は97床ですが、定員や人員確保の対策についてお聞かせください。

4. 同じく、令和7年12月の答弁からですが、ケアプラザ見附が乗り越えるべき課題としては、経営改善の見込みと市の一般会計の負担を挙げられました。介護医療院への転換により、経営改善が出来るとの判断で、転換に踏み切られたのでしょうか。また、一般会計から病院事業会計への繰り入れは、どのくらいまでなら許容できるとお考えですか。お聞かせください。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

5. 同じく、乗り越えるべき課題の答弁の中で、採算性とは別に、市の保健福祉政策上での大きな役割がある。とおっしゃいました。全くその通りだと思います。介護医療院への転換を成功させるぞ。という市長の決意・覚悟をお聞かせください。